



## 地域連携室だより 2020 秋

循環器内科でも睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診療をはじめました

松山市民病院 循環器内科部長 高橋 夏来

睡眠時無呼吸症候群(SAS)が高血圧の危険因子であることは早くから知られていましたが、近年では不整脈や心不全などの多くの循環器疾患のリスク因子であることも明らかになっています。冠動脈疾患患者では約 30%、心房細動患者では約 40-50%に SAS を認めるとの報告もありますが、こういった患者では日中の傾眠などの自覚症状に乏しいことも多くあります。SAS の治療を行うことにより循環器疾患の治療効果が高まるデータも多く存在しますので、SAS は循環器疾患の一つと考え、積極的に検査治療に取り組んでいます。まずは自宅に配送する簡易検査機器で評価を行い、SAS が疑われた場合には1泊2日入院での終夜睡眠ポリグラフィ(PSG)を行っています。

治療が必要な場合には持続陽圧呼吸(CPAP)治療を開始していますが、慣れるまでは毎週水曜日午後の循環器内科 SAS 外来で専門の看護師からのアドバイスを受けながらの診療を行って、スムーズな導入を図っています。

日中の眠気がある方、あるいはその自覚はないけれど高血圧や不整脈などがある方がいらっしゃいましたら、当循環器内科まで御連絡下さい。

簡易検査機器を用いた評価の様子



### 地域医療連携システムについて

これまで、地域連携システムをご導入いただいた先生方に、通信におけるセキュリティの確立の為にこちらでご用意したソフトを用いて、ご利用いただいておりますが、愛媛県医師会地域医療連携ネットワーク（連携 EMA ネットワーク）からも接続が可能になりました。従来のシステムよりもラウンドトリップタイムの計測（当院での環境では）でも 15ms と 7ms も速さが改善されている環境ですので、より快適にご活用いただければと思います。

まだ、ご利用頂いていない先生方でも、連携 EMA ネットワークのご利用が可能な PC であれば、下記のコードを利用し当院の連携システムが、ご体験頂けます。ご導入のご希望がありましたら地域連携室（089-913-0081）まで、ご連絡いただければ設定に伺わせて頂きます。

